

第1学年 体育科学習指導案

学級 1年2組 31名

指導者 淵脇 稔尚

1 単元名 多様な動きをつくる運動遊び「すごろくタイムとおためしタイムで楽しもう」

2 単元の目標

【運動】体のバランスをとったり移動をしたりするとともに、用具を操作する動きや力試しの動きができる。

【態度】運動に進んで取り組み、きまりを守って仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けてりしている。

【思考・判断】体つくりのための簡単な運動の行い方を工夫しようとしている。

3 単元の評価規準

【運動への関心・意欲・態度】

- ・いろいろな動きに進んで取り組んでいる。
- ・友達と協力して、用具の準備や片付けをしている。
- ・安全に気を付けて、運動のきまりを守ったり、友達と仲よく練習したりしている。

【運動についての思考・判断】

- ・多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知り、用具を操作しながら楽しい遊び方を選ぼうとしている。
- ・運動の行い方を知り、友達のよい動きを見付けようとしている。

【運動の技能】

- ・姿勢や方向を変えて、体のバランスをとる動きを身に付けることができる。
- ・速さ・リズム・方向などを変えて、体を移動する動きを身に付けることができる。
- ・用具をつかむ、回す、くぐるなどの操作する動きを身に付けることができる。
- ・人を運んだり、力比べをしたりなど、力試しの動きを身に付けることができる。

4 単元について

(1) 多様な動きをつくる運動遊びの特性

多様な動きをつくる運動遊びは、体のバランスをとったり、いろいろな方向へ移動したり、力試しをしたり、用具を操作したりして、体の基本的な動きを身に付けるとともに、体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、自らの運動の仕方を広げることのできる運動である。さらに、友達のよい動きを見付けてまねしたり、運動の行い方を工夫したりして楽しく取り組むことや、友達と協力したり、触れ合ったり、仲よくかかわることのできる運動でもある。

(2) 児童の実態

1年生の児童は、休み時間には友達同士で誘い合い、元気に外に出て遊んでいる。ジャングルジムや丸太、アスレチックなどの遊具を使った遊び、鬼遊びやボール遊びなどをして時間いっぱい楽しく過ごしている。本学級の児童も全員がすすんで校庭に出かけて、体育で学習した動きで遊んだり、遊具や用具を利用して体を動かしたり、鬼遊びなどで約束ごとを決めて遊んだりすることを楽しいと感じている。

しかし、運動そのものの経験不足や特定の運動ばかりを行う傾向があるために、授業での新しい動きを習得させる場面で、自分の体を思い通りに動かすことが難しいと感じている児童や動きのイメージをもつことができない児童も多く、取り組みに迷いが見られることがあった。

そこで、多様な動きをつくる運動遊びを通して、児童に運動の楽しさやおもしろさを味わわせながら、様々な動きを経験させたり、体の基本的な動きを身に付けさせたりして、意欲的に運動しようとする児童を育成したいと考えた。

5 研究主題に迫るための手だて

(1) 児童一人一人が学習のおもしろさを味わいながら課題意識をもって取り組むことのできる授業作り

○学習過程の工夫

1年生の年間計画に照らし合わせ、単元を前半後半の10時間ずつの20時間とした。前半は体のバランスをとる運動遊び、体を移動する運動遊び、力試しの運動遊びを中心に組みませ、自分の体の操作に慣れてきた。後半は用具を操作する運動遊びを中心に組み込んでいく。

単元の終末に、「すごろくランドで遊ぼう」という活動を設定した。すごろく遊びの要素と既習の運動遊びを組み合わせ、これまでに身に付けた体の基本的な動きを使い、みんなで楽しく運動できる時間とした。遊びの中で体を動かす楽しさを味わい、自ら運動に取り組もうする気持ちをもてるようにする。

また、2時間目から8時間目までの一単位時間の流れを、「すごろくタイム」、「おためしタイム」(主運動Ⅰ)、『『あっ、これだ!』タイム』、「まねっこタイム」(主運動Ⅱ)、『『これでしょ!』タイム』というようにパターン化することによって、児童が見通しをもって意欲的に活動ができるようにする。さらに、児童が身に付けるべき動きを習得させるために、一単位時間のねらいを明確にした。「おためしタイム」では、児童が初めて経験する動きの場合は「動きを確認しながら運動する時間」、なじみのある動きの場合は「動きを選び、工夫しながら運動する時間」とした。そして、「まねっこタイム」では、学習したことを生かして回数、人数、距離、方向などを工夫した運動遊びをすることができるようにした。動きのポイントや動きを上手に行うためのコツを確認することで、児童が自分の運動に取り入れ、楽しい運動遊びに広げられるようにする。

○学習資料の工夫

児童自身が自分の動きをイメージすることは難しいため、見て分かる資料を絵や言葉に表して掲示し、動きの内容が分かるようにする。めあてや取り組む運動遊びなどの提示も「くぐる」、「はこぶ」など1年生にも理解しやすい短い言葉を用いる。

また、すごろくで使うサイコロの目は、多様な動きをつくる運動遊びの既習の動きをあてはめることにした。毎時間、新しい運動遊びを取り入れる度にサイコロの目の種類が増えていくこと

になり、それによって児童の学習への関心・意欲が持続していくように工夫する。

(2) かかわり合いを大切にした活動

○「あっ、これだ！」タイム、まねっこタイムの設定

「あっ、これだ！」タイムを設定し、習得すべき動きのポイントを教師が具体的に取り上げたり、友達の動きやアドバイスで確認し合ったりできるようにする。また、友達の動きを見ることで、児童の「やってみたい」、「まねしてみたい」という意欲を高め、まねっこタイムで自らの運動の仕方を広げたり、より上手に動けるように質を高めたりしていく。

○場の工夫

既習の運動遊びが積み重なってできる「すごろくタイム」や「すごろくランド」を設定する。児童を小グループに分け、すごろくのマス目を円にした状態でその円周上に並び、それぞれの場所で運動遊びに取り組む。このことにより友達の動きを近くで感じ、自分の動きに生かせるようにする。すごろくで使うサイコロの目には、二人組やグループで行う運動遊びも取り入れ、友達とかかわり合いを通して基本となる動きを身に付けられるようにする。

(3) 適切な見取りとそれを生かした指導

○すごろくタイムの設定

前時までに取り組んできた運動遊びを振り返る時間とした。グループごとに取り組みの様子を見取り、運動そのものの楽しさや、できた喜びを感じさせる。

○おためしタイム（主運動Ⅰ）の設定

その時間に取り組ませたい主な運動遊びをする時間とした。児童の動きに対する安全面に留意して、ねらいとする動きに十分にに取り組む時間を確保し、動きの経験や習得を中心に行い、動きを身に付けることができるようにする。また、児童の習得の状況から、工夫した運動遊びに取り組むこともできるようにする。

○「あっ、これだ！」タイムの設定

「あっ、これだ！」タイムでは、児童のよい動きや動きのコツについての発言から、ねらいとする動きのポイントを確認させる。そして、学んだことを生かし、更に取り組んでみたいという意欲を引き出す。

○まねっこタイム（主運動Ⅱ）の設定

「あっ、これだ！」タイムで自分や友達に取り組んだ動きについて、挑戦したり、よりよい動きにしたりするための時間とした。友達の動きを見てやってみたいと感じているときに、すぐに取り組ませることで、児童の意欲を高め、体を動かすことの楽しさを体験させる。また、身に付けた動きから工夫した動きにつながるようにする。

○「これでしょ！」タイムの設定

授業の中で楽しかったことや自分ができるようになったことを振り返り、発表する場を設けた。児童にできるようになった満足感をもたせたり、更にできるようになりたい動きを見付けさせたりするなど、運動することを楽しみにする意欲を高めることができるようにする。

○教師の働きかけや言葉がけの工夫

体の基本的な動きを身に付けられるように、コツをつかむための動きのポイントを具体的な言葉で指導・助言できるようにする。【表1参照】

【表1】

| | 動き | 運動遊び | 動きのポイントがイメージできるような言葉がけ |
|------------|---|--|---|
| 用具を操作する | つかむ 持つ 降ろす 回す 転がす 【ボール】 【フープ】 | ボール遊び フープ遊び | <ul style="list-style-type: none"> ・「二人で向かい合って転がそう」 ・「体のいろいろな場所で回してみよう」 |
| | | ボール遊び | <ul style="list-style-type: none"> ・「手のひらをしっかり広げているね」 ・「指先に力を入れて（つかんで）みよう」 ・「指先を下にして捕ろう」 ・「体全体を使って、大きく回そう」 ・「ボールを受け取ったらしっかりつかもう」 ・「二つのボールを転がしてぶつけてみよう」 |
| | | フープ遊び | <ul style="list-style-type: none"> ・「お互いにぶつけないようにして転がそう」 ・「肘から先で小さく振ってみよう」 ・「転がしたら離れすぎないようにして進もう」 ・「フープをまっすぐ立てて回そう」 ・「前に押し出すように、手のひらで転がそう」 ・「フープを動かす場所を変えてみよう」 |
| | くぐる 【長なわ】 | 大波小波 長なわくぐりぬけ | <ul style="list-style-type: none"> ・「なわが自分の所に近付いてきたら、跳ぼう」 ・「なわが自分の前を通り過ぎた時に、さっとくぐりぬけよう」 ・「なわの動きをよく見よう」 ・「みんなで声をかけ合いながら、挑戦してみよう」 |
| | 運ぶ 【ボール】 | はさんで運ぼう | <ul style="list-style-type: none"> ・「ボールをはさむときに背中を押すようにしよう」 ・「お互いに体重をあずけるようにしよう」 ・「二人（みんな）で息をそろえよう」 ・「ボールを軽く押すようにしよう」 ・「ボールを押す強さを工夫してみよう」 ・「ボールが乗っている所を平らにしよう」 |
| | 投げる 捕る 【ボール】 | 投げてキャッチ | <ul style="list-style-type: none"> ・「膝を伸ばすときの力を使って投げ上げよう」 ・「ボールの動きに合わせて手のひらを下に引いて捕ろう」 ・「ボールと自分の位置を確認しよう」 ・「落ちてくる速さに合わせて捕ろう」 ・「自分の真上に投げるように手のひらを上に向けよう」 ・「一回転して捕ったり、姿勢を変えたりしてみよう」 ・「片足を一步踏み出して、相手が捕りやすい場所に投げよう」 |
| | 跳ぶ 【短なわ】 | 両足跳び | <ul style="list-style-type: none"> ・「トントントンとリズムよく跳ぼう」 ・「手首をしっかりと回そう」 |
| 乗る 【竹馬】 | 竹馬遊び | <ul style="list-style-type: none"> ・「手と足をそろえて同時に出してみよう」 ・「足の裏に竹馬をくっつけるように歩いてみよう」 ・「竹馬を少し前に倒して、前かがみになって歩いてみよう」 | |

※「体のバランスをとる運動遊び」、「体を移動する運動遊び」、「力試しの運動遊び」の言葉がけは、研究紀要参照。

※【参考文献】文部科学省「多様な動きをつくる運動（遊び）パンフレット」

6 単元の流れ(学習過程)

※ 【参考文献】文部科学省「多様な動きをつくる運動(遊び)パンフレット」

| 時間 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6(本時) | 7 | 8 | 9 10 | |
|-------|---|--|--|---|--|---|---|--|--|---|
| 段階 | 感じる | 気づく | | | | | | | つかむ | |
| めあて | <ul style="list-style-type: none"> 用具を操作する運動遊びに取り組み、時間とすることを確認する。 用具を操作する運動遊びに親しむ。 安全に気をつけ、決まりを守り、仲よく取り組む。 運動遊びを工夫して取り組む。 | | | | | | | | | |
| 学習活動 | 1 あいさつ 2 準備運動 3 場の設定 4 安全についての確認 | 1 あいさつ 2 準備運動 3 場の設定 4 すごろくタイム ・前時まで学習した運動を取り入れて、運動遊びそのものを楽しんだり、できた喜びを感じる。 | | | | | | | 1 あいさつ 2 準備運動 3 場の設定 4 遊び方の確認 | |
| | 5 オリエンテーション ・学習のすすめ方 ・安全面の話 ・準備運動 ・用具の扱い方 | 5 おためしタイム(主運動Ⅰ) ・主な運動遊びに取り組み、動きを身に付ける。・安全に気を付けて運動する。 | | | | | | | 5 すごろくランドで遊ぶ | |
| | | ○用具をくぐる、跳ぶなどの動きで構成される運動遊び ・長なわをくぐる、跳ぶ >大波小波 >回したなわをくぐり抜ける | ○用具に乗るなどの動きで構成される運動遊び ・竹馬に乗って歩く >足場の低い易しい竹馬などに乗る >足場の低い易しい竹馬などで歩く | ○用具をつかむ、持つ降ろす、回す、転がすなどで構成される運動遊び ・ボールを操作する >持ち上げる >回す、降ろす >互いに転がす | ○用具をつかむ、持つ降ろす、回す、転がすなどで構成される運動遊び ・フナーを操作する >倒れないように転がす >倒れないように回す >二人組で転がす >動かす場所を変えて | ○用具を運ぶなどの動きで構成される運動遊び ・ボールを運ぶ >背中ではさんで >二人組ではさんで | ○用具をくぐる、跳ぶなどの動きで構成される運動遊び ・短なわを跳ぶ >前回し跳び >後ろ回し跳び | ○用具を投げる、捕るなどの動きで構成される運動遊び ・ボールを投げる、捕る >上に投げたボールを両手や片手で捕る >姿勢を変えて >動きを加えて | ・これまでに学習した運動を振り返って楽しく遊ぶ。 >体のバランスをとる運動遊び >体を移動する運動遊び >用具を操作する運動遊び >力試しの運動遊び | |
| | 6 すごろくタイム ・これまでに学習した運動を取り入れて、運動遊びそのものを楽しんだり、できた喜びを感じる。 | 6 「あっ、これだ！」タイム ・動きのポイントやコツを発表し、共有する。 | | | | | | | 6 「これでしょ！」タイム ・楽しかったことや自分ができるようになったことを振り返る。 | |
| | | 7 まねっこタイム(主運動Ⅱ) ・動きのポイントを意識して、まねしたり、試したりしてみる。 ・工夫した動きを試してみる。 | | | | | | | | |
| | | >ゲームをする >記録に挑戦 | | >ボール送り | >転がしリレー | >みんなで運ぶ >リレーをする >一人で運ぶ | >連続して跳ぶ >かけ足跳び | >用具を変えて >ゲームをする | | |
| | | 8 「これでしょ！」タイム ・楽しかったことや自分ができるようになったことを振り返る。 | | | | | | | | |
| | 7 整理運動 8 あいさつ・片付け | 9 整理運動 10 あいさつ・片付け | | | | | | | 7 整理運動 8 あいさつ・片付け | |
| | 運動 | ○ | ◎ | | ◎ | | | ○ | ◎ | ○ |
| | 態度 | ◎ | | ◎ | ○ | ○ | ○ | ◎ | | |
| 思考・判断 | | ○ | ○ | | ◎ | ◎ | | ○ | ◎ | |
| 評価規準 | 運動への関心・意欲・態度 | <ul style="list-style-type: none"> いろいろな動きに進んで取り組んでいる。 友達と協力して、用具の準備や片付けをしている。 安全に気を付けて、運動のきまりを守ったり、友達と仲よく練習したりしている。 | | | | | | | | |
| | 運動についての思考・判断 | <ul style="list-style-type: none"> 多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知り、用具を操作しながら楽しい遊び方を選ぼうとしている。 運動の行い方を知り、友達のよい動きを見付けようとしている。 | | | | | | | | |
| | 運動の技能 | <ul style="list-style-type: none"> 姿勢や方向を変えて、体のバランスをとる動きを身に付けることができる。 速さ、リズム、方向などを変えて、体を移動する動きを身に付けることができる。 用具をつかむ、回す、くぐるなどの操作する動きを身に付けることができる。 人を運んだり、力比べをしたりなど、力試しの動きを身に付けることができる。 | | | | | | | | |
| 評価の方法 | 観察・発言 | | | | | | | | | |
| 支援 | 児童に合った言葉がけをする【表1】 | | | | | | | | | |

7 本時について (6 / 10 時間)

(1) 本時の目標

- 【態度】 運動に進んで取り組み、用具の準備や片付けをしたり、場の安全に気を付けて運動したりしている。
- ◎【思考・判断】 運動の行い方を知り、友達のよい動きを見つけてまねてみたり、自分の運動に取り入れてみたりしようとしている。

(2) 展開

| | 学習活動 | ☆指導 ◎支援 ◆評価 (観点・方法) |
|-----|---|---|
| 5分 | 1. あいさつをする。 2. 準備運動をする。 3. 場の設定をする。 | ◎元気にあいさつをする。 ◎準備運動を通して、体調を確認する。 ◎グループで協力して準備をするように促す。 |
| 12分 | 4. <u>すごろくタイム</u> ○すごろく遊びで体を動かす。 ・バランスや移動、力試しをする運動遊び ・用具を操作する運動遊び | ☆今までに学習した多様な動きをつくる運動遊びを取り入れて行う。 ◎本時のめあてにつながる運動遊びに取り組みさせる。 ◎運動遊びを工夫させ、周りの安全にも気を付けて行わせる。 ◎取り組む運動遊びが偏らないように配慮する。 |
| 23分 | 5. <u>おためしタイム(主運動Ⅰ)</u> ○めあての確認をし、ボールを背中などではさんで運ぶ運動遊びを行う。 ボールをせなかではさんではこぼす。 ・友達と背中などでボールをはさんで、いろいろな方向に運ぶこと ◇動きのポイント <u>ボールをはさむときに背中を押すようにしてお互いに体重をあずける。</u> 6. 「あっ、これだ！」タイム ○児童が試した動きの中で、よい動きにつながった動きのポイントやコツを発表し、共有する。 ・うまくできたところ ・動きのポイントやコツがわかったところ ・工夫したところ 7. <u>まねっこタイム(主運動Ⅱ)</u> ○「あっ、これだ！」タイムで児童から出た、よい動きのポイントやコツを意識しながら、まねしたり、試したり、動きを広げたりしてみる。 ・まねしたい動きに挑戦する ・違う部位で挟んで運ぶ | ☆めあての動きを提示し、習得する動きを確認する。 ◎習得する動きのポイントを意識させる。 ◎運動を行う上で歩く方向や速さ、タイミングや安全などを意識させる言葉がけをする。 ◎グループの中でペアを決めて取り組みさせる。 ◎よりよい動きを引き出す声かけをする。【表1】 ☆児童の感じたことを聞き取り、全体でよりよい動きについて考えさせ、共有させる。 ◎よりよい動きを引き出す声かけをする。【表1】 ◎「やってみよう」という気持ちを引き出す。 ◎改めて安全面等、意識させる声かけをする。 ☆「あっ、これだ！」タイムで気付いた動きのポイントやコツを生かして運動に取り組みさせる。 ◎動きの広がりをもつ。 ◎手や肩、腹など体の一部を使ってボールを挟み、友達と協力して取り組みさせる。 ◎声をかけ合ったり、タイミングを合わせたりすることを意識させる。 ◆運動の行い方を知り、友達のよい動きを見つけてまねてみたり、自分の運動に取り入れてみたりしようとしている。(観察・発言) |
| 5分 | 8. 「これでしょ！」タイム ○楽しかったことやできるようになったことを発表する。 ○本時の学習を振り返り、できたことを確認する。 9. 整理運動をする。 10. あいさつ・片付けをする。 ○次時の学習内容を知る。 | ◎楽しかったことやできるようになったことなどについて、全体で振り返ることにより児童が満足感を味わえるようにする。 ◎整理運動を通して、体調を確認する。 ◎次時の確認をする。 ◎協力して片付けをさせる。 |

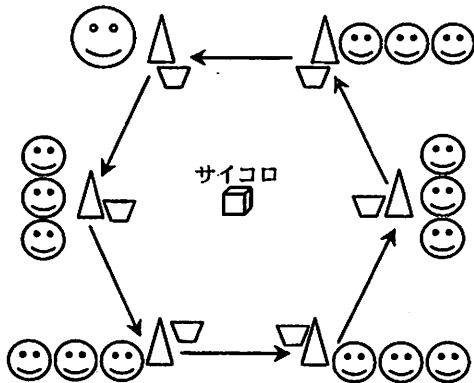
(3) 評価

- 【運動への関心・意欲・態度】 運動にすすんで取り組み、用具の準備や片付けをしたり、場の安全に気を付けて運動したりしていたか。
- ◎【運動についての思考・判断】 運動の行い方を知り、友達のよい動きを見つけてまねてみたり、自分の運動に取り入れてみたりしようとしていたか。

(4) 資料

◎当日の活動の場

コーン ▲ 用具 ▽ 担任 😊 児童のグループ 😊😊😊



<すごろくタイムの活動>

- ① バランス・移動・力試しの運動遊び
サイコロを振り、出た目の運動遊びを行う。移動が伴う場合は、次のマスに進む。
- ② 用具を操作する運動遊び
サイコロを振り、出た目の数だけコーンを進み、その場に置かれている運動遊びを行う。